



# 輝け！北っ子！

## 熱中症危険性への緊急対応 ありがとうございます

昨日20日は、熱中症の危険性が高まっているということで、急遽「全校児童 保護者への引き渡し」を実施しました。当日朝のメールでの対応変更依頼にもかかわらず、ご対応いただきまして、本当に感謝申し上げます。また、仕事柄なかなかメールが確認できなかった方や、お迎えの駐車時に混雑にあった方など、多大なるご心配、ご迷惑をおかけしましたこと重ねてお詫び申し上げます。できるだけ早い段階での連絡を心がけては参りますが、今後も非常災害等、緊急の対応が迫られることも予想されます。「保護者への引き渡し」の場合、保護者と連絡が取れない時は、児童を一人で帰宅させることはせず、どんなに遅くなくても学校で児童を待機させることとしています。ご理解の上ご協力をお願いします。



また、熱中症対策とマスクの着用についてですが、学校では以下のような方針で児童への指導・対応をしています。

- 十分な身体的距離（概ね2m）が確保できないときはマスクを着用する。（身体的距離がとれる場合、体育の授業は、マスクの着用は必要なし）
- 感染症拡大防止のためのマスク着用 より 熱中症対応 を優先とする。  
※温度・湿度・暑さ指数が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高くなる。
- 暑さで息苦しいと感じたら、マスクを外したり、片耳だけかけて呼吸するなど自分の判断 で対応する
- 水分補給をこまめに行う。（のどが渇く前に）

## 朝の検温 大丈夫？

### ～新型コロナウイルス感染症対策の再確認～

学校では、2学期始まりにあわせて新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた、学校としての対応策を再確認しました。というのも、対応が長期化してきて、私自身の中に「マンネリ化」してきているのではという不安があったからでした。そして、なんとなく「うちの学校は大丈夫だろう」という何の根拠もない思いが私の中に芽生え始めているのではと感じたからでした。実際考えてみると、子ども達から出される体温・健康状態のチェックの時期・方法は？児童の登校から教室までの動きは？手洗い、換気は？当たり前のように先生方がしていることでも、ちょっとしたズレがあるようにも思えたのでした。

その中でも、一番確認したのは子ども達の「登校から教室までの流れ」でした。（※裏面に載せてありますので確認ください。）その出発点は「家庭での検温」になります。この検温がしっかりなされていて、正確に記入されているという前提の上で、その後の対応が成り立っていきます。学校と家庭の信頼関係の上に成り立っているといっても過言ではないと思っています。

どうか、2学期開始のこの時期に、朝の検温・健康観察についてその大切さを再確認し、対応をよろしくをお願いします。



- 毎朝、登校前に検温を実施し、カードに記録する。（子ども任せにしないでください）  
→ 体温が37.0度以上ある場合は、登校を見合わせる。
- 健康状態を確認する。（特にかぜの症状がないかどうか）  
→ かぜ症状とは…  
発熱、せき・たん、強いだるさ、のどが痛い、頭痛、においや味がしない等

# 新型コロナウイルス感染防止のための対応表

< 健康の把握のためのフロー図 >



